白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol. 707
令和2年12月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」ー酪農家の心を食卓へー

今月の特集
写真で振り返る大山乳業農協2020
現場潜入
白バラブランドの品質を守る
検査課の現場
各種活動レポート
指導課通信
大山乳業農協からのお知らせ

写真で振り返る
大山乳業農協 2020

1月 初年度白バラ認証牧場が誕生

昨年４月からスタートした白バラ認証制度。春と秋の巡回審査と年末の認証審査を経て、認証制度初の「白バラ認証牧場」が誕生しました。

2月 地域と連携！コラボ商品発売

カルビー株式会社が展開するご当地ポテトチップスに鳥取の味として「白バラコーヒー味」が発売。また、地元の高校生とコラボした白バラぽろたん栗シフォンも発売しました。

3月 市乳課新ゲーブル充填機起動

市乳課に500ml・1000ml の紙パック充填機を増設。また包装ラインでは段ボールケーサーを導入し、遠隔地への輸送に対応しました。

第 53 回通常総会のようす

コロナ禍の一年

専務理事　平野 浩

年の瀬も押し迫る中、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、第３波到来で再び生活への不安、経済活動は鈍化と先行きが読めない状況になっています。

新しい生活様式が提唱され、「ソーシャルディスタンス」、「リモート」、「３密」、「Go To」をはじめとした新用語と共に、私達の働き方も大きく変化しました。

酪農乳業にも大きく影響があり、鳥取県の生乳生産量は回復基調にあるものの、コロナ禍にあって需給バランスに影響がありました。

緊急事態宣言等による学校給食の休止で生乳は行き場をなくし、夏休み期間の短縮と猛暑で夏場の牛乳不足を招きました。一方で、人々の生活や食のスタイルの変化により巣ごもり需要といわれる家庭内消費が大幅に伸び、心配された牛乳消費量は増加し、潜在的な需要を証明できたものと思われます。

さて、来年は組合創立７５年目を迎えます。７０周年で打ち立てた１０年ビジョンの中間点、加えて第７次中計から第８次中計へと移ります。ウィズコロナの時代にあって、今後どのように取り組んでいくべきかを示す重要な年でもあります。

新型コロナウイルスとの戦いももう少しの我慢であります。来年が素晴らしい年となりますよう、この難局を乗り越えてまいりましょう。

2020年 製品発売年表

7月 琴浦大山警察署と共同で交通安全啓発アームバンド作成

夏休みを前に、琴浦大山警察署と共同でアームバンドを作成。琴浦町・大山町の児童の安全啓発活動にも協力することができました。

4月 新入職員入組＆FSSC22000更新

今年は10名の新入職員が入組しました。また、FSSC22000の更新など、コロナ禍に明るい話題となりました。

8月 WEB商談会議室完成

リモートでの商談や会議用の設備を備えた商談会議室が完成しました。現地に出掛けなくてもリモートで商談や研修などを行うことができます。

6月 牛乳月間に鳥取県知事訪問

今年はコロナ禍で、例年と違った牛乳月間を迎えましたが、家でも楽しめるバーチャル工場見学をはじめとした牛乳月間特設サイト公開や、知事訪問・フォトコンテストを行うなど、積極的に牛乳消費拡大をＰＲし元気を届けました。

12月 60tサイロタンク増設工事完了

鳥取県内の生乳生産量の増加や、あらゆる自然災害への備えなど、貯乳能力アップの為、60tサイロタンクを増設しました。

現場潜入

チームワークでお客様に安心・安全を

白バラブランドの品質を守る検査課の現場

大山乳業農協の「安心・安全」を守る

大山乳業農協の牛乳・ヨーグルト工場の一角。ガラス越しに見えるのはたくさんの機材や器具、試薬です。

清潔に保たれた研究室のような空間で業務を行っているのは、検査課の職員。検査課では日々、生乳検査や製品検査など多くの検査が行われています。検査課の業務は工場で製造された製品の検査だけでなく、牧場から大山乳業農協に到着した生乳のサンプル検査も毎日行っています。検査結果を酪農家が把握することで、高い乳質の維持に繋がっています。

普段は表舞台に出ることが少ない検査課ですが、業務は大山乳業農協にとってなくてはならいもので、大山乳業農協の「安心・安全」を守る砦です。

ときにその稼働時間が24時間に及ぶこともある検査課の業務。今回は、大山乳業農協の品質を守る検査課の業務や想いを紹介します。

チームワークと日々の努力が生む安心安全

検査課の業務は大きく分けて2つあり、1つは酪農家の皆さんが丹精込めて生産した生乳の品質や安全性を確認すること。もう1つは、大山乳業農協が安心・安全な製品を製造していることを様々な検査により保証することです。

検査課に所属する職員は現在16名で、生乳受入検査・依頼検査・牛群検査等を行う「生乳検査業務」や、工程確認検査、原料検査、製品検査、保存試験等を行う「製品検査業務」の他に、大山乳業農協の従業員への官能検査の教育訓練や、外部提出書類の作成を行っています。

業務時間は、深夜午前0時30分から午後8時30分が基本で職員は交代で業務を行っています。

製造の稼働時間と連動しているため、時には24時間連続で稼働するということもあるそうです。

また、毎日休まず行われる搾乳にも対応するため、検査課は365日休むことはありません。

滞りなく検査が行える体制の裏には検査課の「チームワーク」がありました。一見、検査業務は個人作業のように思えますが、検査に必要な試薬、培地、器具の準備など、複数の職員が業務を連携して行っています。

日々様々な業務を滞りなく行い、製品の安心・安全を守る検査課の職員には、迅速かつ正確な結果を出すことが求められます。

検査課の職員1人ひとりの日々の努力が、安心・安全な製品の出荷を可能にしています。

お客さまに幸せな時間を提供するために

今回検査課のお話を伺った杉川課長は検査課について「検査課では、カテゴリー毎にチームがあり、各チーム会議と製品全体会議を毎月実施しています。会議では、検査結果の検証や業務の改善策を関係部署を交えて協議しています。これにより、情報共有が行われます。また、普段の業務においても互いに声を掛け合い、協力し合えるところが検査課の強みだと思います。」と話してくださいました。

検査課の業務は判断を誤れば、多くの人の笑顔を奪うことにもつながりかねない緊張の中、迅速かつ正確な結果を求められる業務だからこそ、コミュニケーションや、情報共有が大切なのではないかと感じました。

先日、大山乳業農協に寄せられたお客様の言葉の中に、「幸せな時間をありがとう」と書かれた一文がありました。

たった数文字の言葉ですが、お客様が大山乳業農協を信頼してくださっている気持ちが込められているような気がします。

日頃、検査課の職員はお客様と直に接する事はありませんが、白バラブランドの品質を守ることで、製品を通じお客様と見えない信頼の糸で繋がっています。

白バラブランドの品質を守るため、そして、1人でも多くのお客様に「幸せな時間」を提供するために検査課の職員は今日も1人ひとりが責任重大な業務と真摯に向き合っています。

1. 工場見学通路から見える生乳検査室
2. データ入力のようす
3. 生乳受入時のアルコール検査
4. 微生物検査用の培地
5. 牛乳の微生物検査のようす
6. チーム会議のようす

さばの濃厚ミルク味噌煮～カラフル野菜添え～

ミルクタルト

なんちゃって クリーミーえびフライ

鳥取県牛乳普及協会レポート

牛乳・乳製品利用料理コンクール 中国大会結果報告

11月14日（土）岡山県学校給食会学校給食総合センター（岡山県岡山市）を会場に令和２年度中国地区牛乳・乳製品利用料理コンクールが開催されました。

同コンクールは、牛乳・乳製品の知識普及と消費促進に資することを目的としており、中国５県から10名が参加しました。

審査の結果、最優秀賞には岡山県の井上さんが考案した「さばの濃厚ミルク味噌煮～カラフル野菜添え～」が選ばれました。

また、優秀賞には広島県の後さんの「ミルクタルト」と岡山県の大谷さんの「なんちゃって クリーミーえびフライ」の２レシピが選ばれました。

鳥取県から出場した門脇さん、西村さんは優良賞を受賞されました。

今回中国大会に出場した皆さんは県大会を終え、中国大会までの限られた期間でさらに改良を重ね、どのレシピも味と見栄えに工夫を凝らした力作が揃いました。

鳥取県総合情報誌「とっとり NOW」１２８号

総合企画室レポート

鳥取県総合情報誌とっとりNOWの表紙に白バラ牛乳が登場！

この度、鳥取県広報連絡協議会が発行する情報誌「とっとりNOW」の表紙に白バラ牛乳のパッケージが登場しました。

とっとりNOWは鳥取県の自然や歴史・人・産業・文化・スポーツなどの幅広い分野からさまざまな魅力を発掘し発信する季刊で、表紙イラストを手掛けておられる池平さんが初めて白バラ牛乳を飲んだ際の感動がきっかけとなり、表紙に描かれることとなりました。

今回の表紙は白バラ牛乳を飲んだとき「ソフトクリームみたい」と感動した想いと、大山の北壁と雪を組み合わせ白の美しさを表現されたそうです。

とっとりＮＯＷは鳥取県内の書店やコンビニエンスストア、鳥取県広報連絡協議会サイトにでご購入できます。

お問合せは鳥取県広報連絡協議会まで。（https://www.kouhouren.jp/）

品質管理通信
おしえて！ケーコさん
意外と知らない身近な「品質管理」

第20回 年末の大掃除と3S

早いもので、今年もあとわずかとなりました。例年だと、忘年会やクリスマス等で外出の機会が多い時期ですが、今年は早めに大掃除に取り掛かる方もおられるのではないでしょうか。

家で過ごす時間が多い今年の大掃除におすすめなのは、汚れたところを掃除する大掃除ではなく、掃除し易い環境づくりです。掃除し易い環境とは、不必要なものを置かず、モノがゆとりをもって配置されている環境のことです。モノがどこに、どれだけ置いてあるか、すぐに分かるようにしてあれば、食品の余分な買い置きや不必要なものをつい買ってしまうこともなくなります。また、余分なモノが置いてないスッキリした環境だと、掃除がし易く、掃除の習慣が身につくことも期待できます。

大山乳業農協の事務所では「３Ｓ」という言葉が浸透しています。これは「整理・整頓・清掃」を意味しており、不要な備品を持ち過ぎないよう本数を決めたり、定位置を決めて使い終わったら元の場所に戻す習慣をつけ、職場環境を整えています。

今年は、在宅勤務が増えたり、外出を控えたりと、家で過ごす時間が増え、家中の断捨離が進んだという話も耳にします。

ぜひ、今年は、掃除のしやすいスッキリとした環境作りの大掃除をして、来年の年末は大掃除をせず、その分、外出を楽しめるといいですね！

大山の頂上を保護する会へ寄付金を贈呈

11月11日(水)小前組合長は大山町役場を訪問し「大山の頂上を保護する会」会長の竹口大紀町長へ寄付金を贈呈しました。

大山の環境を保護する会は地元の自然保護団体や山岳関係者、行政などが昭和60年に結成し、昭和50年代から年々増加する登山者に踏み荒らされ現象していく大山山頂の緑を取り戻そうと、大山から崩落した石を登山者の手で山頂に運び浸食溝を埋めたり、植樹・コモ伏せ・外来種の除去などを行う「一木一石運動」を行っています。

この寄付金は、一木一石運動をはじめ、大山の環境保護などに利用されるもので、大山と関わりの深い大山乳業農協は、例年秋に開催される大山まきば祭の収益の一部を寄付しています。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大により大山まきば祭の開催が見送られるなか、職員からの寄付を募るなどして例年と同様に寄付金を届けることが出来ました。

竹口町長は、小前組合長から寄付金の贈呈を受け「今後も酪家のサポートをしていきたい」とお話しされました。

大山乳業農協は今後も、大山の自然環境保護へ積極的に取り組んでいきます。

私のオススメ

皆さんこんにちは、製品開発センターの門脇です。

私のオススメ製品は、生クリーム大福です。

国産もち粉を使用したもちっとしたおもちに、小豆感を堪能できる粒あん、そしてなめらかな口どけの生クリーム入りホイップが特徴です。

一口食べると粒あんのしっかりとした小豆の風味が広がり、クリームとの相性抜群です。

大福を少し凍らした状態で食べるとまた違った食感が楽しめます。

生クリーム大福だけでなく、宇治抹茶クリーム大福もありますので、寒い時期に暖かい場所でぜひお召し上がりください。

ぜひ、いろいろな味をお召し上がりください！

指導課通信

いつから飲んでた?! 牛乳の歴史のお話

現代人の食卓に当たり前に存在している牛乳ですが、一体いつから飲まれる様になったのでしょうか。

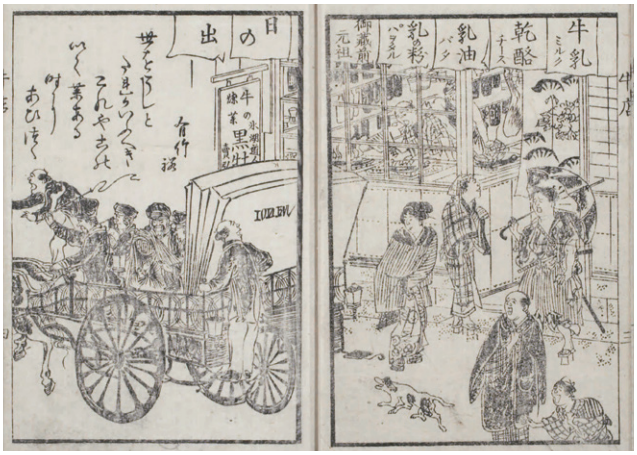
世界でみると牛乳利用の歴史は決して近代的なものではなく恐らく人類歴史の最初から栄養食品として愛用されてきたように思います。私たち人間が、羊や山羊の乳を利用し始めたのは約1万年前の西アジアです。

牛に関しては、それより少し後で、6500年前には農耕にも使われ家畜化されていました。約4000～5000年前古代エジプトやメソポタミアでは、牛から乳を搾って飲んでいたことを示す壁画やレリーフが見つかっています。

一方の日本では、古代から牛はいましたが、牛乳の利用となると、645年大化の改新のころ、百済(くだら)からきた帰化人の子孫、善那(ぜんな)が孝徳天皇に牛乳を献上したのが始まりといわれています。その動機は、牛乳を食品というよりは、むしろ医薬として上流階級の間で飲まれており、庶民一般の食生活のために発達したものではないようです。平安時代には藤原一族から広く貴族へ広まっていきました。しかし仏教で殺生を禁ずることや、朝廷の勢力が次第に弱まったことで牛乳飲用は衰退し、牛乳の利用が中断された空白の時代が500年ほど続きました。

江戸時代末期の開国により外国人が住むようになると、牛乳の必要性がいっそう高くなります。一般に牛乳が売られる様になったのは、千葉県の前田留吉がオランダ人のスネル兄弟から乳牛の飼育管理や搾乳の技術を学び、1863年9月、横浜に搾乳所を作って売り出したのが最初であるといわれています。明治に入り、生乳をブリキ缶に入れて持ち運び、ヒシャクで5勺（90ml）ずつの量り売りが始まりました。明治2年には横浜で町田房造が、日本人で初めてアイスクリームを製造販売し、明治4年には、「天皇が毎日2回ずつ牛乳を飲む」という記事が「新聞雑誌」に載ると、国民の間にも牛乳飲用が広まるようになります。同年に出版された仮名垣魯文著「牛店雑談／安愚楽鍋」の中の挿絵に出てくる浅草御蔵前牛肉屋元祖「日の出」の暖簾では「牛乳ミルク」「乾酪チーズ」「乳油バタ」の文字が見え、庶民の身近な存在であったことが分かります。

日本の酪農は、このように外国からの影響と指導によって発達し、昭和3年には牛乳の殺菌を義務化、昭和26年には厚生省令第52号「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令」が公布されるようになりました。



【写真】
資料名：『牛店雑談安愚楽鍋』
所蔵者：（国文学研究資料館所蔵）

お客様より お便りをいただきました

ホームページにお客様からコメントを頂きましたので紹介します。

宅配販売店さんを通じて届いた白バラほっとラインの記事に、大変感銘を受けました。

私は、はるか40年以上前の京都で学生の頃、生協にあった大山牛乳を飲んでその美味しさにファンになりました。現在の地に来て、販売店があったので何年か宅配を受けていたのですが、そこの叔父さんが病気でお亡くなりになり、宅配を諦めて他の牛乳を取っていました。でも、諦めきれずに、最近宅配を再開してもらいました。そのご縁で、今回の記事を拝見し、若い方がこのような思いで酪農と白バラ牛乳に取り組んでくださっている事、本当に嬉しく、頼もしく感じました。本当に苦労の多い、お休みの少ない大変なお仕事だと思いますが、どうぞ健康に気をつけて、ご家族でがんばっていただける事、また息子さんたちがそのお姿を見て、後継を志してくださる事、心から！祈念いたしております。

組合の皆様のご努力で、美味しい白バラ牛乳がこれからも頂けますよう、心から願っています。

年末年始の酪農課業務日程について

年末年始の酪農課の業務は、下記の通り計画しておりますので何卒よろしくお願い致します。

期　　日	業　務　内　容
１２月２９日（火）	通常業務
１２月３０日（水）	朝一棚卸終了後、通常業務
１２月３１日（木）	酪農課：半日勤務（12時まで業務致します） ※配達は致しませんのでご了承ください。 指導課：休み
１月１日（金）	正月休日
１月２日（土）	正月休日
１月３日（日）	正月休日
１月４日（月）	通常業務

お知らせ

下記日程にて棚卸業務の為、飼料倉庫・乾草倉庫及び薬品の出荷業務が出来ません。組合員の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、宜しくお願いいたします。

令和２年１２月３０日（水）
午前中

棚業務の為、出荷できません。
午後～通常の出荷業務となります。

緊急連絡先

大山乳業	０８５８-５２-２２１１
山本部長	０９０-４６９１-３７８９
中村課長	０８０-２９４４-２２７１

＼かわいい!!／
我が家のペット紹介
下垣ロッキー君

壮大な景色が望める鍵掛峠や、複数の水工場がある奥大山。

自然豊かなこの場所で、のびのび走り回っているグレートデンのロッキー君を発見！ギネス・ブックに掲載されている歴代の「世界一大きな犬」にはグレートデンが多く登録されています。ロッキー君も非常に大きく、初めて会うとびっくりしますが、実はとっても小心者で、ロッキー君の方が初対面にビビりぎみ…。そんなロッキー君ですが、山菜採りの時期には、張り切って先頭を歩き、　その姿はとっても頼りがいがあります。

皆さんからの投稿お待ちしています

酪農だより編集委員では、らくのうギャラリー・我が家のペット紹介に投稿いただける方を募集しています。ご紹介頂ける方は、指導課 萩野もしくは、総合企画室 佐伯までご連絡ください。

輸入粗飼料の情勢

品　目	今後の改定要因			特　記　事　項
	品代	為替	フレート	
フレート			→	アジア諸国から北米向けの貨物量は依然として高水準で推移している。空コンテナ回漕に割り当てを増加させ本船を運航する動きも出ている。この影響で以前に比べ北米発輸出向けの船腹予約の取得が難しくなっている。また、北米においては窓口である各港ターミナルにおいて混雑が生じている。増加する輸入貨物量に対してターミナルの荷役作業員及び、コンテナの保管スペースが不足しており、貨物の輸入量が各ターミナルの収容許容量を超え始めている。沖合で滞船する本船が増加しており、本船スケジュールに遅延が出ている。船社によっては海上運賃一斉値上げを実施しており、輸入乾牧草のコストを押し上げている。 豪州でも北米同様、大幅な遅延が生じている。この遅延の主要因は労使交渉と中国への空コンテナ回漕が輸出貨物の船積みよりも優先され行われていることである。一部の船社では豪州発日本及び台湾向けなどの輸出向けの船腹予約の受付を一時的に停止することを発表している。
ビートパルプ	→	→	→	糖度の含有量はここ数年で最も高い値となっている。各産地の生産量は、前年を上回る見込みとなっている。
スーダングラス	→	→	→	豪州産オーツヘイの不作を受け日本からの引き合いは強くなっている。産地の干ばつの影響で国内からの引き合いが旺盛なため、現在追加で買付できるものは限定的となっている。
アルファルファヘイ	→	→	→	コロンビアベースンでは、１番刈の良品の発生は限定的だった。２～３番刈は一転し好天に恵まれたため色目は良いが、ドライな仕上がりの品質が多く発生している。４番刈はブリーチが多く混入した品質となった。オレゴン州南部クラマスフォールズ、クリスマスバレーでは、１番刈～３番刈まで例年並みに上級品が発生している。産地相場は輸出業者と内需による旺盛な引き合いから、高値で推移している。
USチモシー	→	→	→	コロンビアベースンとキティタスバレーで上級品の発生は限定的となった。上級品の価格は高騰し、上級品と中級品以下の価格差が例年よりも大きくなっている。
カナダチモシー	→	→	→	１番刈の作況は地域によって異なり、アルバータ州南部レスブリッジでは、雨当たり被害は少なく上級品が発生したものの、茶葉の混入が多く、大半は中級品となった。クレモナでは良品の発生が期待されていたが、茶葉の混入が多く中級品以下の発生がほとんどとなった。
オーツヘイ	→	→	→	２０年産の西豪州は天候に恵まれ、上級品と中級品の発生が中心となっている。２０年産における上級品の出荷は西豪州中心となる。南豪州は、収穫時に断続的な降雨に見舞われたため、雨当たり品が多く発生している。東豪州でも多くの雨当たり品が発生している。低級品が中心となっている。
クレイングラス	→	→	→	１番刈は収穫前の多雨で雑草混入が多く発生したため輸出向けに出荷可能な品質の発生は限定的となった。生産者によってはシーズンを通し６番刈まで収穫できており、全体としては多くの良品が発生した年となった。茎が固く、湿度により発生したブリーチが混じった低級品は韓国を中心に出荷されている。
ストロー類	→	→	→	アニュアル種のライグラスストロー、フェスキューストローともに良品が発生している。在庫を補填するために旺盛な買い付けが行われており、産地相場は堅調である。

大山乳業農業協同組合 からのお知らせ
Dainyu Information

理事会だより
令和２年11月20日理事会にて次の議案が決議されました

11月20日提出議案

第１号議案	１０月末経営検討について
第２号議案	第８次中期経営計画（案）について
第３号議案	飼料倉庫の移転について
第４号議案	指導部関連規程の一部変更について
第５号議案	諸規定の変更について
第６号議案	伯耆酪農商事㈱の株式取得について
第７号議案	年末一時金について

テレビ番組「日本のチカラ」がNHK WORLDで全世界向けに放送されます

２０１９年８月に日本海テレビをはじめ、全国ネットで放送されたテレビ番組「日本のチカラ 笑顔咲く白バラ牛乳物語」がＮＨＫ ＷＯＲＬＤで全世界向けに英語放送が行われます。今回は、前回放送された内容に、コロナ禍での鳥取県の酪農について追加取材・再編集し放送されます。

ＮＨＫ ＷＯＲＬＤの番組情報はこちらのＱＲコードから検索いただけます。

年末年始の直売所・お問合せ窓口営業日について

各業務につきまして年末年始休業日のお知らせです

カウィーのみるく館

12月31日（木）	1月1日（金）	1月2日（土）	1月3日（日）
PMより休業 14:00まで営業	休業	休業	営業 新年初売

※1月３日に限り日曜日の営業を行います。４日以降は通常営業（日曜日定休）となります

ネットショップ：カウィーの白バラショップ

12月27日（日）～1月5日（火）まで
発送業務を休業致します
※詳しくはショップホームページをご覧ください

フリーダイヤル

12月31日（木）～1月3日（日）まで
フリーダイヤルを休業致します
※1月4日（月）より通常営業致します

HPお問い合わせフォーム

12月31日（木）～1月3日（日）まで
問い合わせ対応業務を休業致します
※お問い合わせの送信は可能です
※期間中のお問い合わせについては1月４日（月）より順次対応致します

工場見学は現在新型コロナウイルス感染拡大防止の為、休止中です。再開の際には改めてご案内致します

ホームページからのお声

■子供の頃から大好きです！九州に転勤になり、なかなかお目にかかれず・・・クリスマスケーキも食べたいなぁ。（福岡県）

■京都生協の懇談会でお話を聞きました。映像で生産者のお顔も拝見できて、安心安全で信頼できる組合だと感じました。（京都府）

■昭和の給食の牛乳は白バラマークの三角牛乳でした。そのころから白バラブランドは私の中では不動です。グッズなどの商品開発も素晴らしいです。（鳥取県）

■近所のスーパーではなかなか販売されていないので、オンラインショップで購入できるのはとても嬉しいです。リーズナブルな価格であることも手が出しやすくついつい多めに買ってしまいます！（東京都）

■ロールケーキを食べました。冷凍食品とは思えないほど美味しかったです！大山乳業さんのクリームはちょうど良い量でペロリと食べられました。（長野県）

■いつも家族で美味しく頂いています。今年は生協でクリスマスケーキを購入してみようかなと思っていて、今から食べるのが楽しみです！これからも美味しい製品をよろしくお願いします。（滋賀県）

■昔からお馴染みの白バラさん。いつも飲みたくなる味をこれからもよろしくお願いします。（鳥取県）

Dainyu-PICKUP!

製造管理課 徳丸考査役に 一般社団法人日本乳業協会より会長感謝状贈呈

11月19日（木）、製造管理課の徳丸考査役へ一般社団法人日本乳業協会から会長感謝状の贈呈が行われました。

この表彰は、牛乳等の衛生及び品質の向上並びに生産技術及び物流の改善等に努力し、牛乳等処理事業の発展に貢献した功績者に贈られるものです。

徳丸考査役は1979年に大山乳業農協に入組し、今年で勤続41年を迎えられます。永きにわたり製造部に従事され、特に製造管理課長としてクリーンで環境に配慮したエネルギー対策を施しながら安定的な工場稼働に努められた功績を称えての表彰となりました。徳丸考査役、おめでとうございます！

Dainyu-PICKUP!

わらべ館イベントチラシに 白バラ牛乳デザインが採用されました

令和２年12月５日（土）から令和３年２月14日（日）の期間、鳥取市にある童謡・唱歌おもちゃのミュージアム「わらべ館」で開催される企画展「モーたくさん！丑の郷土玩具展」のポスターに白バラ牛乳のパッケージデザインが使用されています。

この企画展は、日本全国の張り子や土人形、木地玩具などから、２０２１年の干支「丑」の郷土玩具約８０点を展示するもので、企画展のポスターを制作するにあたり、鳥取県で県民に馴染みがあり牛をイメージするものとして、白バラ牛乳のパッケージデザインを使用していただくこととなりました。

関連イベントなどもありますので、ぜひご来館ください。（わらべ館ＨＰ：https://warabe.or.jp/）

カウィーのとっとリップ

今月は佐治アストロパークにお出かけ

日本屈指の反射望遠鏡やプラネタリウムがあり、宿泊施設も備えた国内有数の公開展望台だよ！夜の星空だけでなく天気が良い時には、望遠鏡での昼間の星観察や太陽観察もできるんだって！

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます

今回紹介するのは、平成２年８月２０日発行の「酪農だより第３４３号」に掲載された東伯町酪農婦人部と、母と子の会の料理講習会のようすです。
完成した料理を前に皆さん笑顔で「牛乳で乾杯！」。

編集後記

今年も「酪農だより」をご愛読いただき、本当にありがとうございます。来年は丑年であります。みなさまと一緒に「酪農だより」も牛のようにゆっくりと歩んでいきたいと思います。どうぞ良いお年をお迎えください。

酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協お問合せフォームからお寄せください
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶

酪農だより vol.707

発行責任者／小前孝夫　編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社　発行日／令和２年12月20日

大山乳業農業協同組合
〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp　E-mail:email@dainyu.or.jp